

## T20240630\_03\_CignalAI

[1Q24](#)にデータコム光モジュールが記録的レベルに

400GbE および 800GbE モジュールの出荷台数が前期比で25%以上増加する。

調査会社 Cignal AI の 24 年第 1 四半期光学部品レポートによると、ハイパースケールネットワーク事業者の需要により、400GbE および 800GbE データ通信モジュールと 400ZR 通信光モジュールの購入が記録的なレベルに達した。今四半期は、AI クラスタの相互接続と従来のコンピューティングアプリケーションをサポートするために、300 万個を優に超える高速データ通信モジュールが出荷された。

「800GbE ベンダの出荷台数は、1Q24 に出荷された 800GbE モジュールの数は、2023 年全体とほぼ同じだが、まだ需要に追いついていない。一部のベンダはリードタイムが短縮されていると報告しているが、400GbE および 800GbE モジュールの需要は依然として非常に強く、データ通信セグメントの収益は 2024 年に倍増すると予想している」と、Cignal AI のリードアナリストである Scott Wilkinson はコメントしている。

1Q24 の光学部品に関するその他の調査結果:

- データ通信用光部品への支出は、AI アプリケーション向けの 400GbE および 800GbE 光モジュールの AI アプリケーションが需要を記録的なレベルに押し上げたため、前年比 90%以上増加した。
- 400GbE および 800GbE データ通信モジュールの合計出荷台数は、すべての SR/DR/FR/LR 仕様で前四半期比 25%以上増加した。Innolight は、データ通信モジュールの出荷ですべてのベンダーをリードした。
- 通信用光モジュールの出荷台数は、前年比 35%以上増の 400G コヒレントプラガブルに集中した。Marvell と Acacia は、

出荷台数が力強く伸びた。

- ・プラグブル・コヒレント以外では、通信部品の出荷が前年同期比で減少し、セグメント売上高は前年同期比で 26%減となった。
- ・コヒレントモジュールの市場規模は 2023 年には 50 億ドル未満に減少したが、2024 年には成長し、2028 年には 100 億ドルに近づくと予想されている。

